大分県防災映像公開システム機器一式の調達に係る入札　質問・回答一式

質問番号	質問内容	回答
No.1	本入札の参加資格については、「物品」となっておりますが、入札の方法については60か月の賃貸借料の算定が記載されております。その場合、入札者においては賃貸借の定款がある前提の参加資格となりますでしょうか。また、リース会社での応札に関しては可能という認識で良いでしょうか？	定款上、賃貸借事業の記載がないことにより即座に入札参加不可となるわけではないですが、入札説明書記載の条件（3競争入札に参加する者に必要な資格）を満たしていることが条件となります。また、企業として、定款の解釈上、賃貸借事業を行うことが可能である必要があります。
No.2	特記仕様書記載のLTE回線×５、ISP×６、および光回線について、契約は受注者にて行う認識で良いでしょうか？またその場合月額費用は賃借料に含む認識で良いでしょうか？	機器の購入や設定は本業務で行い、回線の利用料（通信費）については、別途、発注者により通信会社と契約を行うものとします。
No.3	契約終了後の撤去作業を実施する際、HDDなどデータ消去が必要な機器はないかと存じますので特段落札者側でデータ消去作業は実施しない認識でよろしいでしょうか。	今回、物理サーバーからクラウドサーバーとなるため、HDDのデータ消去はありませんが、クラウドサーバー内に保存された画像データ等を消去する必要があります。
No.4	全国的な供給不足や物流の遅延等の不測の事態が生じた場合に、メーカ側の事情により、機器納期が遅延となる可能性が指摘されている。このような受注者の責によらない事由により遅延となった場合は、当社（リース会社）への指名停止等の処分や賠償請求、違約金請求等はないまま、契約期間変更等の協議に応じて頂けますでしょうか。	受注者の責めに帰さない事由により期限までの納入が困難となったことが認められる場合、受発注者間で今後の方針を協議するものとします。